

学校保健

平成12年6月1日

No. 232

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
<http://www.hokenkai.or.jp/>JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会



日本学校保健会の出版物について

(財) 日本学校保健会 副会長 澤村 良二

日本学校保健会から多くの図書やしおりの類が発行されています。これらは専門家や経験の深い学校の先生達によって十分な検討を経て編纂されたもので、学校保健についての有用な情報を提供するものです。しかしその普及状況は、全国の学校数や児童生徒数に照して十分とは言えないように思います。

現代は情報化社会と表現されるとおり、情報流通の流れがますます大きく速くなっていますことは間違ひありません。しかし、このことによって情報が豊富になると信じるのは、とんでもない錯覚かもしれないのです。

その理由の第1は、情報の質に問題があって、受け手が情報の正確さを判断する能力を備えていなければ的確な対処ができません。第2は情報の氾濫です。仮に情報が正確であっても、多すぎれば一つ一つの情報の価値は薄まりますから、受け手の側で取捨選択して、価値のある情報を有効に利用できるようにする必要があります。

過去の実績を十分に検討し、吟味して精選した図書や文献は、新たな状況に的確な判断を下す見識を養う材料で、これも立派な情報です。際物（きわもの）の情報も確かに情報であり、新しい知見を入手して情報通になるのもよいのですが、それに振り回されているだけでは、いかにも情けない話というほかないではありませんか。

目次

卷頭言 日本学校保健会の 出版物について	…1
時代の要請に応え、有用有効な 健康教育情報を	…2
Book Review	…4
全国養護教諭連絡協議会の概要	…5
全国学校保健主事会の概要	…6
平成12年度 「学校保健用品・図書等 推薦一覧」	…7

会報をよくするため、読者のご意見を求めて
います。お葉書をお寄せください。

乞御回覧	校長	教頭	保健主事	養護教諭	P T A	会長	副会長

時代の要請に応え、有用有効な健康教育情報を —平成12年度事業の概要と基本的な考え方—

専務理事 本吉 鼎三

〔基本的な考え方〕

20世紀後半の驚異的な経済成長は、物質的な豊かさをもたらしましたが、他方で、人々の精神世界に多くの好ましくない傷痕を残しました。社会観や価値観の多様化・孤立独善化に連動して自己中心主義や異質なものへの排除意識が根強くはびこり、児童生徒の成長と発達に極めて憂慮すべき影響を及ぼしました。いじめ、不登校、校内暴力、非行、性の逸脱行動が普遍化し、昨今ではさらに薬物乱用、エイズ感染が問題化し、そして遂に異常で凶悪な殺傷事件の頻発を見ることになりました。

このような状況を打開するには、第一には「探究心をそそる楽しい授業」の創出など、教科領域での創造的、再生的な実践が望まれますが、同時に「好ましい生活習慣の修得を通した健康づくり」「他者を思いやる、こころの健康づくり」などの健康教育を推進し、「生きる力」を育成することが強く要請されています。

本会はこのような現状認識に立って、本年度も、まず第一に、養護教諭、保健主事等の教育実践を支援し充実するために課題別委員会を設置し、現場教職員の英知と体験を結集して鋭意調査・研究に取り組み、有用性・有効性の高い手引き書・指導書の作成に取り組みます。また、児童生徒の健康の実状を解明するため不可欠な、学校保健サーベイランス事業にも取り組んでまいります。

近年、シンナーや覚醒剤への誘惑が急速に低年齢化し、ゲーム感覚、あるいは誤ったダイエットなど安易・無自覚に乱用され、危機的な状況を呈しており、ライフスキル教育などによる「絶対にNOといえる勇気」の普及・徹底が急がれております。本会は前年度に引き続き、現場の教師・学識経験者等の参画を得て、教育用ビデオ・パンフレット・ポスターの作成、インターネット・ホームページを活用した薬物防止教育のための情報提供に努めています。

近年の化学物質による学校環境の汚染問題に対し、環境衛生の諸規則の見直しを行うとともに、緊急課題である「ダイオキシンをはじめとする外因性内分泌かく乱物質」についての知識の普及・伝達に取り組んでまいります（その他の事業については、概要の項を参照）。

本会は創立以来、加盟諸団体のご意見・ご要望を

忖度し、集約しつつ、次代の国民の心身両面での健全な育成に不可欠な施策を遂行してまいりました。本年度も、文部省をはじめ関係省庁・地域および職域諸団体との連携を深め、学校保健研究大会の開催等の固有の事業（会務）の遂行に努めるとともに、国から委託された「学校保健センター事業」を、より一層充実・発展させ、施策実施団体としての使命を果たしていきたいと念じております。関係各位のご指導・ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

〔平成12年度の主要事業の概要〕

I. 一般事業

ア. 大会開催等：

全国学校保健研究大会を、本会および文部省、日本体育・学校健康センターの共催で、平成12年11月9日～10日、北九州市にて開催。「全国学校保健協議大会」を同時開催。また、6月16日に「全国学校保健事務担当者連絡会」を開催します。

イ. 広報活動：

会報「学校保健」を年間5回発行、本会の活動状況、中央情勢、地方・職域別組織の活動状況等を報道。また、総合情報誌「学校保健の動向—平成12年度版」を斬新な内容で編集・発行します。

ウ. そのほか、学校保健に関する情報委員会・学校保健に関する検討委員会の開催、学校保健功労者の顕彰、学校保健関係図書の出版及び配布、学校保健用品の推薦等を行います。

II. 学校保健センター事業

[1] 企画運営委員会

学校保健センター事業の適正かつ円満な運営を検討し、アドバイスします。

[2] 普及指導事業

1. 普及指導委員会

学校保健の基本的事業を検討し普及を図り、調査研究等の報告書や出版物等の普及と活用を推進します。

2. 海外委員会

海外の学校保健の情報を収集し、「海外情報ニュース」を年2回編集し発行するとともにインターネットにも掲載します。

[3] 調査研究事業 注…(新)は新規事業**1. 保健学習推進委員会**

改訂学習指導要領の要点を協議、指導案・展開例等を作成し、それらを実践的に検討して、冊子にまとめ出版します。

2. 喫煙・飲酒・薬物乱用防止指導研究委員会**ア. 薬物乱用防止教育指導者用ビデオ作成小委員会****イ. 薬物乱用防止教育教材作成小委員会****ウ. 薬物乱用防止教育ホームページ小委員会****エ. 薬物乱用防止広報啓発活動推進小委員会**

学校における薬物乱用防止教育に関するビデオ、教育教材、ホームページ等を作成したり、広報映像を作成し競技場等において大型カラーディスプレイによる広報啓発活動を行います。

○薬物乱用防止教育中央研修会・5月16日～17日・青少年センター

○薬物乱用防止教育シンポジウム・6月20日・イイノホール

3. 保健管理調査研究委員会**ア. (新) 健康診断調査研究小委員会**

健康診断等の実施状況を調査して、その現状と問題点を分析し、海外等の健康診断実施状況を参考に、今後の健康診断等のあり方について検討します。

また、教職員の健康診断等についても検討します。

イ. (新) 心臓・腎臓等管理指導小委員会

新学習指導要領の体育運動種目の改訂等に対応して、心臓・腎臓管理指導指導表の改訂を行います。

ウ. 心因性視覚障害小委員会

心因性視覚障害に関する教職員への普及啓発用パンフレットを作成します。

4. 保健主事資質向上委員会

保健主事活動の実態・問題点を調査・整理し、今後の充実策について検討し、報告書にまとめます。

5. 学校環境衛生推進委員会

学校環境衛生の基準の改訂のための各項目の検討を行います。

ア. 内分泌かく乱物質情報提供小委員会

学校給食食器における内分泌かく乱物質に関するホームページによる情報を提供します。

6. (新) 新興・再興感染症対策研究委員会

結核を中心とした感染症予防のための普及啓発用(高校生向け)パンフレットを作

成します。

[4] 健康増進事業**1. 養護教諭研修事業****ア. 研修会の開催**

○保健室相談活動中央研修会・7月4日～7日・青少年センター

○養護教諭中央研修会・11月13日～17日・青少年センター

○保健室相談活動研修会・47都道府県に委託して実施します。

イ. 養護教諭研修事業推進委員会

養護教諭の行う保健指導や保健学習の授業の実態や保健室来室者(保健室登校者を含む)への対応等の実態を調査し、それぞれの課題をさぐり資料を作成します。

2. 学校保健研修事業

学校医・学校歯科医・学校薬剤師・保健主事・養護教諭等学校保健関係者の連携を図るための研修会を開催します。平成12年度は9県で実施します。

3. 児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業

委託県の事業を推進しその成果を全国的に普及し学校歯科保健活動の充実を図っていきます。

ア. 児童生徒等歯・口の健康つくり推進委員会

「歯・口の健康つくり」資料を作成します。また、委託県の事業の円滑な運営を図るため委員の現地訪問指導・実地調査を実施し、委託県の実践事例集を作成します。

4. エイズ教育調査研究事業**ア. 研修会の開催**

○エイズ教育中央研修会・6月7日～6月8日・青少年センター

○世界エイズデーションポジウム・11月24日・青少年センター

イ. エイズ教育調査研究委員会

エイズ教育参考資料「みんなで生きるために」を全面改訂します。

ウ. エイズ教育ネットワーク小委員会

児童・生徒向けのホームページを開設し、コンテンツの更新を行います。

5. 児童生徒の健康状態サーベイランス事業

ア. これまでの調査との整合性を図りつつ新たなる視点を加えて調査票を作成し、調査をおこないます。

6. 降灰地域等学校保健事業

5市町村に委託し、児童生徒の臨時健康診断等を実施します。また、降灰地域に降灰除去装置の貸与を行います。

Book Review

専務理事 本吉 鼎三

日本学校保健会のセンター事業で、各委員会の研究成果をまとめた近刊の冊子・しおり等をご紹介します。(ご購入は本会に照会)

◆「学校保健委員会マニュアル」A4版64頁、頒布価格500円。

学校保健主事資質向上委員会の取り組みの成果を集約したもの。「教育問題のあるところに健康問題あり」、児童生徒の心身の健康の推進には、学校・家庭・地域を一丸とした学校保健委員会の活動が不可欠です。本書は、委員会のコーディネーター役を期待される保健主事を中心に、「なぜ学校保健委員会が必要か」「保健委員会って、こんな会議」から説きおこし、会議の進め方、運営の実践モデルなどを掲載。また、「これから新たに学校保健委員会を開催する場合に必要なノウハウ」にも触れ、未組織・開店休業中の学校にも応援の手を差し延べています。保健主事のみならず、学校教職員、学校保健関係者の必読をお願いします。

◆「教師のための心の健康問題の理解と対応」A4版24頁頒布価格300円。

今や学校現場では、指導生徒の「こころの健康」をどう確保しどう推進していくかが、重要な課題の一つになっております。本書は、そのような要請に応えるべく心の健康問題の見方、とらえ方、かかわり方を、子どもの心の発達に則して説明、さらに保護者への対応、校内及び外部関係機関との連携等にも言及しています。課題ごとに「見開き頁に」なっていて、総合的

理解を図っているのも特徴。巻末には、本文の理解に資するために、Q&Aを設けて、各種の事象、専門用語等を解説しております。学校現場での必置の参考書としてお勧めいたします。

◆「新しい保健学習のモデル」—中学校における課題学習、授業書方式、ライフスキル学習— A4版 110頁 2,000円。

健康的な生活習慣の習得、薬物乱用やエイズ感染の防止など、保健教育の課題は拡大の一途をたどっています。それとともに、従来の知識伝授型の教育から、健康信念行動への発展、ライフスキル教育などが重要視されています。本書は、主題を中学校の保健学習、とくに喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育に設定し、授業における教師の支援法、課題学習、「授業書」による保健授業、ライフスキル学習の進め方について授業実践(モデル)を通して解説しています。保健教育担当者のご一読をお願いします。

◆「子どもの心因性難聴Q&A」A4版 10頁、頒布価格150円。

心理的要因でよく聞こえない子どもをどう理解するかを解説しています。

◆「保健主事の手引き<改訂版>」A4版 132頁、頒布価格1,680円。

学校保健の構造、保健主事の職務について整理し、体系化した手引き書、学習指導要領、関連各法規等に改正に合わせて改訂したものです。

文部省体育局学校健康教育課人事異動

○平成12年度3月

高杉 重夫 競技スポーツ課長→学校健康教育課長

徳重 真光 学校健康教育課長→初等中等教育局高等学校課長

三木とみ子 学校健康教育課教科調査官・(併) 健康教育企画室メンタルヘルス教育専門官
→女子栄養大学教授

○平成12年4月

森光 敬子 厚生省老人保健福祉局老人保健課保健医療専門官

→学校健康教育課専門員・(併) 健康教育企画室エイズ教育専門官

田嶋八千代 埼玉県立南教育センター指導主事

→学校健康教育課教科調査官・(併) 健康教育企画室メンタルヘルス教育専門官

北澤 潤 学校健康教育課専門員・(併) 健康教育企画室エイズ教育専門官

→厚生省保健医療局国立病院部経営指導課課長補佐

(財) 日本学校保健会 役員の交代 (平成12年5月)

副会長 竹内 輝博 (前日本医師会常任理事) →山田 統正 (日本医師会常任理事)

理事 (四国ブロック)

今西 一夫 (高知県学校保健会長) →村上 郁夫 (愛媛県学校保健会長)

全国養護教諭連絡協議会の概要

養護教諭の資質と学校保健の向上をめざして

全国養護教諭連絡協議会会长 林 典子

1 沿革

平成3年8月養護教諭制度50周年を機に、全国の養護教諭の研究組織として「全国養護教諭連絡協議会」が発足しました。平成7年度には、初等中等教育研究連合会への団体加盟をいたしました。平成8年には、日本女子会館（東京都港区芝公園）に事務所を開設し、本会の活動拠点となっています。

2 目的と事業

本会は、相互に連絡・連携を図り、養護教諭の職務について研究し、養護教諭の資質を高め、学校保健の向上に寄与することを目的としています。この目的達成のために次のような事業を行っています。
 ①調査研究並びに情報交換②国並びに関係機関に対する要請及び建議③その他本会の目的達成に必要な事業。

3 構成

各都道府県及び政令指定都市の国公立・私立学校養護教諭の研究会及び特別会員をもって構成しています。（現在53研究会と特別会員36人）

4 具体的な活動

《調査研究活動及び報告書の発行》

次の調査研究を行い冊子にまとめてきました。「全国養護教諭研究会活動の状況」（平成4）「児童生徒の心身の健康に関する調査」（平成5）「健康教育に関する調査」（平成6）「養護教諭が関わる健康教育実践事例集」（平成7）「心の健康に関する調査」（平成8）「保健室（施設・設備）に関する調査」（平成8）「養護教諭の新たな役割に関する調査」（平成10・11）。

事務所：東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館内

虎の門 (54)

水・光・空気

最近は水・光・空気などの環境汚染の問題についての関心が非常に高まっているが、その反面公害という言葉があまり聞かれなくなった。

社会資本が充実し、人の物質的な生活環境も整備され豊かでゆとりある充実した生涯を送ることができるようになった一方で、ここらの精神的な面が問われている昨今と同様に思えてならない。

これからの学校教育のあり方が、「ゆとり」と「生きる力」の育成を基本として、特に総合的な学習の時間が設けられたが、水・光・空気などの環境の面も視野に入れてもらいたいと思う。例えば水の性質は、生と死、酸素と水素、液体と固体、海水と河川、給水と排水、上水と下水など生命の維持に必要不可欠な物質であり巾広い題材で自然科学や社会科学の分野

に及ぶものである。また、学校環境衛生の基準でも、飲料水、プール、給食などの項目で係わりあいがあり貴重な資料が得られている。

学校長のリーダーの下で関係者が連携を取り合い学校生活の中で活用することができれば身近な環境から気付く姿勢が生まれ実りある環境教育ができるのではないかろうか。

編集委員 木下 順一郎

全国学校保健主事会の概要

—その歴史と現状—

全国学校保健主事会会长 千葉県立松尾高等学校長 林 真示

1 沿革（草創期）

保健主事の名称が初めて公に使用されたのは半世紀前、昭和24年（1949年）の『中等学校等保健計画実施要領（試案）』でした。本会の歴史はその6年後、昭和30年10月、福井市で開かれた第5回全国学校保健大会で全国学校保健主事会の結成の機運が盛り上がり、福井、滋賀、群馬諸県の保健主事代表より、昭和31年の滋賀県大津市の次期大会までに原案を準備し結成大会を開くことが提案された時より始まりました。

昭和31年に開催された第6回全国学校保健大会・滋賀大会第2日目、分科会「保健主事会」において、千葉、埼玉両県の保健主事代表により「全国学校保健主事会」結成について共同提案がなされ、福井、滋賀、群馬代表による議長団により会則が審議され、満場一致の賛成を得ました。第3日目・最終日の全体協議会の席で、この結果が報告され、本会が日本学校保健会の所属部として認められました。この誕生にご尽力された先輩諸氏に深く敬意と感謝の意を表します。

昭和32年、千葉県館山市立館山小学校で開催された第7回全国保健大会の3日目に、記念すべき第1回全国学校保健主事会が開催されました。この時の協議事項は、(1)「各都道府県保健主事会結成について、結成促進ならびに状況報告」(2)「ブロック別保健主事会結成について」(3)「その他の運営について」でした。以後、第2回は新潟市、第3回は広島市と続きました。昭和41年、群馬県前橋市の大会から「保健主事執務上の諸問題について研究協議し、その資質を向上し、学校保健の推進に寄与するとともに、相互の親睦を図る」を趣旨として掲げ、小学校2校、高等学校の1校の研究発表がありました。この後、岡山市の第14回（昭和46年）大会より、講演を企画し、「保健主事執務上の諸問題について」と題して、佐守信男神戸大学教授よりご講話をいただきました。

このように本会は、会場を持ち回り、研究内容を吟味し、それぞれの時代の課題解決に向けて努力し、また、シンポジウム方式や分科会方式、さらに、基調講話を設ける等研修の充実にも努めて参りました。

2 現状

現在の本会の活動について述べてみます。平成12年度の重点目標を『学校保健主事の組織の確立と充実を図る』『健康教育の推進と充実を図る』に定めています。組織と会務については、「全国学校保健主事会会則」（昭和31年制定）にしたがって運営されています。組織的には、会長の他、副会長、理事、監事、評議員の役員を置き、全国を9のブロックにわけ、各回の開催地については、ブロックごとにその中から開催都道府県を決めています。年2回の理事会と年1回の評議員会、そして大きな事業である全国学校保健主事研究協議会が主な会務です。

3 今後の課題

平成9年の保健体育審議会答申には、保健主事について次のように記されています。

近年、児童生徒の健康問題が複雑多様化しており、このような課題に取り組んでいくためには、学校における健康に関する指導体制の一層の充実を図る必要がある。保健主事は、健康に関する指導体制の要として学校教育活動全体の調整役を果たすのみならず、心の健康問題や学校環境の衛生管理など健康に関する現代的課題に対応し、学校が家庭・地域社会と一体になった取り組みを推進するための中心的存在としての新たな役割を果たすことが必要である。このため、保健主事の一層の向上が不可欠であり、保健主事について主任手当を制度的に支給できるようにする必要がある。

このように保健主事の役割が重視され、資質の向上が求められている今、まず第一に、組織率の拡大と、組織の充実が急務です。第二に、各学校における保健主事の、創意と工夫改善と効率を図るために、長期的展望に立脚した相応の期間の服務が肝要です。第三に、保健主事自らの研修が一層必要であると思います。

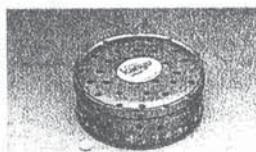
最後に保健主事として、「保健主事の手引き」〔改訂版 平成12年2月（財）日本学校保健会〕と「学校保健委員会マニュアル」〔平成12年2月（財）日本学校保健会〕の十分なる活用を願ってやみません。

平成12年度「学校保健用品・図書等推薦一覧表」
推薦期間 平成12年4月1日～平成13年3月31日

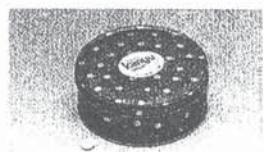
No.	品 目	摘 要	会 社 名
1	カワイ肝油ドロップ	保健栄養剤	河合製薬(株)
2	イソジンうがい薬	口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄・口臭の除去	明治製薬(株)
3	アルボース石鹼液	手指の殺菌・消毒・洗浄	(株) アルボース
4	シャボネット石鹼液	手指の殺菌消毒及び洗浄	サラヤ(株)
5	ヘマコンビスティックス	尿検査用試験紙	三共(株)
6	ライオンこどもハブラシ	歯刷子(6～12歳用)	ライオン(株)
7	ハイライトR	プール用足腰洗槽用殺菌消毒剤	日産化学工業(株)
8	「プール用バイゲンラックス」	プール用水 殺菌剤	(株) カズサ
9	トヨクロソ H, GⅢ	プール向け殺菌、消毒剤	東ソー(株)
10	ネオクロール・ニューS	プール用殺菌消毒剤	四国化成工業(株)
11	ベースサン トップG	プール用殺菌消毒剤	多木化学(株)
12	日曹ハイクロソ TB-200	プール用殺菌消毒剤	日本曹達(株)
13	速乾性手指消毒剤ヒビスコールS	手指の殺菌消毒	サラヤ(株)
14	クリーンウェット	消毒用お手拭き紙	(株) トーヨー
15	コロロ自動うがい器	コップを使わずにウガイできる装置	サラヤ(株)
16	サラヤ自動手指消毒器	速乾生消毒剤が自動的に噴霧して手指を消毒する	サラヤ(株)
17	応急用酸素吸入器O ₂ パック	呼吸困難時の応急用	ミドリ安全(株)
18	風速・温湿度計	教室等の気流・温度・相対湿度の検査器具	日本カノマックス株式会社
19	デジタル粉じん計	教室等の空気清浄度の検査器具	日本カノマックス株式会社
20	JES(呼吸・吸圧)シューズ	上履・体育館・グランド用	日本教育シューズ協議会
21	ポカリスエット及びポカリスエットステビア	水分・電解質補給(清涼飲料水)	大塚製薬(株)
22	元気を応援する水とイオンのはなし	水分とイオンの重要性についての説明と補給法	(有) 健康と料理社
23	「教えて！ クスリン」	薬を正しく使うために—ビデオテープ—	日本製薬工業協会
24	「みんなの健康」ビデオ	プールの水質管理マニュアル	日産化学工業(株)
25	マキロン ジエット&スプレー	外傷救急薬	山之内製薬(株)
26	自然派“カロリー0”の甘味料を使ったヘルシーレシピ(マンガと解説)	エリスリトール・羅漢果エキス	(有) 健康と料理社

カワイ肝油ドロップ

発育期に欠かせないビタミンが凝縮されたカワイ肝油ドロップは、「わんぱく」を応援します。



ビタミンA・D+ビタミンC



ビタミンA・D+カルシウム



製造 河合製薬株式会社
販売 河合薬業株式会社
東京都中野区中野6-3-5 ☎ 03-3365-1156(代)



学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

ネフロスティックス-L

体外診断用医薬品

バイエル メディカル株式会社

東京都渋谷区恵比寿1丁目19番15号

販売元：

三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号

JU2099-S

目にやさしい、手間いらずの安心管理

プール用殺菌・消毒剤

ネオクロール

特長

- 持続性タイプと速効性タイプの2種類の消毒剤があります。
- 速効性タイプのネオクロール・ニュー・S、ネオクロール・T-20Sはプールへ直接投入しても脱色のおそれはほとんどありません。
- 包装単位も小さく、持ち運びが容易です。

◆◆ 四国化成工業株式会社

東京03-5640-4113 大阪06-6282-1441



多才な商品をご用意しています

からだに必要な 水分とイオンの補給に

(財)日本学校保健会推薦



ポカリスエット

商品に関するお問い合わせは
大塚製薬株式会社 03-3292-0021
ホームページ <http://www.otsuka.co.jp/>

5月上旬より、「水分補給」
及び「熱中症予防」教材の
無料送付のご案内をしてお
ります。下記までお問合せ
ください。

お問合せ：健康と料理社 東京都千代田区九段南 4-7-19 TEL03-5275-6838／担当石巻・河西



NEW



狙ったポイントにシュバッと噴射！

もっと、クシリにできること。
Yamanouchi
山之内製薬



- 2つのノズルで、キズを清潔に
- 左に回すと 右に回すと
- カチッ カチッ
- スプレー ジェット

●マキロンは「使用上の注意」をよく読んで、用法・用量を守って正しくお使い下さい。

【商品についてのお問い合わせ先】山之内製薬(株)製品情報センター

電話:03-5916-5500(9:00~17:00/土・日・祝日除く)

機能:すり傷、きり傷、創傷面の殺菌・消毒に

発行 (財)日本学校保健会 矢野 亨 〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-3-17

虎ノ門2丁目タワー6階

電話 03 (3501) 3785・0968

FAX 03 (3592) 3898

価額 1部100円 (送料共)